

団体概要書

(その1)

団体名	トクテイヒエイリカツドウホウジン コエトコトバト ココロノヘヤ 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋	団体の種別 ※いずれか の□にチェックしてく ださい。	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 <input type="checkbox"/> 公益財団法人 <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人 (<input type="checkbox"/> 認定NPO法人) <input type="checkbox"/> 非営利型法人 (公益法人へ移行予定)
代表者の 役職・氏名	(ふりがな) 役職 代表理事 ヤマダカナヨ 氏名 山田假奈代		
主たる事務所の 所在地	大阪市西成区太子2-3-3		
設立年月	任意団体 2003年 4月 NPO法人 2004年 10月	構成員数	10名
事業年度	6月 1日 から 5月 31日		
団体の活動 目的	"こえ"と"ことば"と"こころ"をキーワードとした芸術活動の普及と人材育成を柱に、表現者や表現をとりまく仕組みの新たな経済モデルを実践し、いきいきとした市民生活への貢献とまちづくりの推進を図りながら、男女共同参画社会の形成と子どもの健全育成を図り、表現活動を通じて平和の推進に寄与することを目的とする。		
活動分野	※下表の芸術文化の中から選択して記入してください。 14 その他の芸術文化		
主な活動内容	表現と交流の場「ゲストハウスとカフェと庭 釜ヶ崎芸術大学」の運営 「釜ヶ崎芸術大学」などアーツマネジメント事業 「まちかど保健室」など地域の活動と連携し地域とアートを結ぶ活動など		
これまでの主 な活動実績	※ 具体的かつ直近の活動内容がわかるように記入してください。 釜ヶ崎芸術大学を運営し、毎年美術館や芸術祭での展覧会を開催。 毎月「まちかど保健室」「夜回り」など、地域での活動をつづける。 2018年：釜ヶ崎妖怪かるたを制作。大阪大学と協働。 2019年：延べ700人が参加し井戸掘りを実施。その際のクラウドファンディングで300万円達成。齋藤陽道さんと写真集を制作。 2020年：釜ヶ崎の生きる知恵と技シリーズ実施。大阪大学とのフードロスをテーマに「食べのこしノコッタ」共催。大阪弁護士会人権賞及び地球市民賞受賞。 2021年：大阪大学と「地域コンポスト」構想を開始。 2022年2月：大阪関西国際芸術祭参加。以降毎年 2023年：大阪公立大学との協働事業「公正と正義を軸にしたソーシャルアートコーディネーターの人材育成」 2023年：大阪大学と「ナラティブの扉」 など		
ホームページ	有 (URL www.cocoroom.org) / 無		
機関紙	有 (機関紙名 ぽえ犬通信) / 無		

「活動分野」大阪市芸術文化振興条例第2条にて定義する芸術文化

- 1 音楽 2 演劇 3 舞踊 4 美術 5 写真 6 映像 7 文学 8 文楽 9 能楽 10 歌舞伎
11 茶道 12 華道 13 書道 14 その他の芸術文化

寄附者へのPR等

(その2)

<p>貴団体における現在の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント人材不足 ・事業承継 ・英語対応のできるスタッフの不足 ・街の変化が激しいため、気持ちが追いつかないうえ、目指しているものが見えにくくなってきた ・事務と家事とコミュニケーションで一日が終わり、組織として中長期のビジョンが共有できない
<p>貴団体の将来展望 (何をめざしているのか、支援を受けて取り組みたいこと等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費的に生きるのではなく、自らの身体をつかって仕事や日常をやりくりして、さまざまな人たちとゆるやかにつながり、生きていくための智慧の共有がしたい。
<p>市民等寄附者に対するPR</p>	<p>私たちが活動する釜ヶ崎は、かつて日本の高度経済成長期に日雇い労働者として汗を流した方たちやLGBT、刑務所から出た人など、多様な人たちが暮らす街です。様々な事情を抱える彼らと共に表現活動を続ける中で、人生の引き受け方を学び、「正直に自らを表す」という在り方によって、私たち自身の心が開いていく経験をしました。それは個人の尊厳と向き合うこと。生きづらさという言葉がよく聞かれるようになった昨今、私たちが続ける「出会いと表現の場」が、誰かにとって今日一日を朗らかに生きる糧になり、誰かに影響を与え、人生の循環を生み出すと信じています。多くの労働者が亡くなり、釜ヶ崎の街は変化しています。ひとりひとりの記憶と存在をつなぐことが未来を生きる智慧になると考えます。また街には旅行者が増え、働くために暮らす外国人も多くなり、コミュニケーションの大切さを実感しています。お互い表現しあい、多様な人たちが生き生きと暮らす街でありたいと思います。皆さまのお力添えを何卒よろしくお願いいたします。</p>